

2015国際教養科 NEWS 8月

国際教養科1年 新規採用 ALT との交流会(8/14)

国際教養科1年生は、8月より初めてALTになる先生方約40名と県庁で交流会をしました。善光寺紹介、箸の使い方、書道、折り紙、けん玉・竹とんぼ・あやとり・コマ回し・紙風船のブースを作り、ALTの先生方に日本文化に触れていただきました。善光寺ブースでのプレゼンテーションでは、驚きの声が上がったり、反応があったりして生徒達もやりがいがありました。箸で豆をはさむゲームでは、ALTの先生方は真剣に取り組んでいらしかったのが印象的でした。書道・折り紙のブースでは、各自の作品を持ち帰っていただき大変喜んでいただいたようです。けん玉・コマ・紙風船は屋外で体験してもらいました。最後には、生徒が琴の演奏を披露し、即興で琴の伴奏と共に「ふるさと」と「もみじ」を歌い、ALTの先生方に好評でした。今回の日本文化紹介の経験を活かして、ぜひ海外の学生訪問時や海外語学研修でも披露できるといいですね。

以下は、生徒達の声です。この交流会を通して、「楽しい」だけではなく、今後の自分の課題を見つけることができたようです。Practice makes perfect.



善光寺紹介

正直、自分の英語力は未熟すぎると感じた。子供相手と大人相手とでは丁寧語を使うという差があるから、そういう点でも今回は学ぶことが多くあった。また今回分かった会話のポイントとして相手の名前をきいて会話に挟んで話していくとより話やすく、雰囲気よく話せると思った。このような自分を見直せる機会を作って下さった方々に感謝したい。



箸の使い方



書道



折り紙



けん玉



竹とんぼ



あやとり

今までの人生で一度にあんなに大勢の外国人の方々に関わることがなかったのでいい経験ができたと思う。私は、日本のおもちゃ紹介のブースをやった。日本の伝統のおもちゃなので名前が日本語でわかりにくいと思った。だから、「あやとり」を「ひもの遊び」などと言い換えて説明したりした。そうしたら、ALT も理解してくれた。でも、遊び方を教える時、思うように英語が出てこずジェスチャーとちょっとした英単語でしか説明することができなかった。だから話もあまりすすまず、笑顔で遊ぶことしかできなかった。自分の英語力の低さを感じた。もっと英語で日本の伝統のおもちゃのすばらしさを伝えたり、コツを教えたりして、日本について興味を持ってほしかった。海外語学研修へ行ったら、自分の英語力では通じないと思った。良い刺激を受けた。



参加して特に感じた事はしっかりと日本の文化が伝えられたか、という不安だ。何を言っているのか分からず何回も聞きなおしてやっとわかったり聞かれたことに対してあやふやにしか答えられなかったりしたからだ。たとえば ALT の先生の名前に漢字をあてたときにひとつひとつの漢字の意味を聞かれてものすごく困ってしまった。日本の文化に今まで以上に興味を持つことができたよいきっかけとなった。いつか授業でやった他者をする事でより自分を知ることができるということばを身をもって体感できた。このくりかえしでさらに世界の多くの知識を高校生の中に頭に入れていきたい。